

一般社団法人大学英語教育学会

平成 25 (2013) 年度事業状況報告書

定款第 5 条第 1 項の (1) から (6) に掲げる平成 25 年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

記

1 号事業報告：大会セミナー等事業

(1) 第 52 回 (2013 年度) 国際大会の開催

平成 25 年 8 月 30 日から 9 月 1 日まで京都大学吉田キャンパス(京都市左京区)において、「英語教育の連携と相対化」をテーマに第 52 回 (2013 年度) 国際大会を開催した。参加者数約 1200 人。基調講演 3 件、海外提携学会代表による招待講演 7 件、国内招待講演 2 件、全体シンポジウム 2 件、団体会員特別シンポジウム 1 件、特別委員会報告 2 件が行われた。また、関西支部企画シンポジウム 1 件、関西支部企画ワークショップ 2 件が行われた。さらに、グローバル人材育成シンポジウム 1 件、グローバル人材育成特別企画ポスターセッション 85 件が行われた。その他、研究発表、実践報告、事例研究、シンポジウム、ポスターセッション、ワークショップの分野で発表が行われた。最後に、「教育再生実行会議で提案された大学入試制度 (英語) の改革案についての意見書」(通称「京都アピール」) が採択された。

会員には、11 月に刊行した『JACET 通信 189 号』にて全体報告と、基調講演、全体シンポジウム等に関する報告を行い、学会ウェブサイトにも掲載した。後援名義許可をいただいた文部科学省、京都大学高等教育研究開発推進センター、京都府教育委員会、京都市教育委員会に事業実績、決算報告を行った。また、「教育再生実行会議で提案された大学入試制度 (英語) の改革案についての意見書」(通称「京都アピール」) が『英語教育』2013 年 11 月号 (第 62 巻第 9 号) pp.62-64 に掲載された。

(2) サマーセミナーの開催

平成 25 年 8 月 20 日から 23 日に関東甲信越地区国立大学法人等共同利用施設草津セミナーハウスにおいて参加者 51 名で JACET 第 40 回 (2013 年度) サマーセミナーを行った。“Motivation and autonomy: researching and methodological perspectives in language learning”のテーマのもと、メイン講師に Dr. Ema Ushioda (University of Warwick)、また、国内から中谷安男氏 (法政大学)、竹内理氏 (関西大学) を迎え、公募による参加者の発表も行った。活発な論議が展開され、参加者からも好評であった。講演および発表内容をプロシーディングとしてまとめて刊行した。

(3) 英語教育セミナーの開催

平成 25 年 11 月 3 日に早稲田大学において、「JACET 第 1 回 (2013 年度) 英語教育セミナーと教材展示—英語教材と指導法の今」をテーマに英語教育セミナーが行われた。吉田研作氏の講演と賛助会員 12 社と関連の発表 40 程度を実施し、教材展示などを併せ実践的な面から英語教材と指導法の今を考えた。小学、中学、高校、大学等の英語教員、および英語教育関係者約

250名が集まり、講演、質疑応答、討議を通じて、知見を深め、実践に役立てることができた。

(4) 支部大会の開催

以下のように各地で支部大会を開催した。支部大会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となった。また、研究大会については、各支部ニューズレターで報告された。

- ・ 北海道支部大会 平成 25 年 7 月 6 日
- ・ 東北支部大会 平成 25 年 7 月 6 日
- ・ 関東支部大会 平成 25 年 6 月 16 日
- ・ 中部支部大会 平成 25 年 6 月 1 日
- ・ 関西支部大会 平成 25 年 11 月 9 日
- ・ 中国・四国支部大会 (春季) 平成 25 年 6 月 8 日
(秋季) 平成 25 年 10 月 26 日
- ・ 九州・沖縄大会 平成 25 年 7 月 6 日

(5) 支部講演会の開催

以下のように、各支部において講演会が開催された。講演会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・ 関東支部講演会 平成 25 年 4 月 13 日, 9 月 14 日, 10 月 5 日, 12 月 14 日,
平成 26 年 1 月 11 日
- ・ 中部支部講演会 平成 25 年 10 月 5 日
- ・ 関西支部 1~3 回講演会 平成 25 年 7 月 13 日, 10 月 5 日, 平成 26 年 3 月 8 日
- ・ 九州・沖縄支部学術講演会 (春期) 平成 25 年 6 月 8 日
(秋期) 平成 25 年 10 月 26 日

(6) 支部研究会等の開催

以下のように各支部において研究会が開催され、これらの研究会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・ 北海道支部研究会 平成 25 年 5 月 25 日, 11 月 16 日, 平成 26 年 3 月 8 日
- ・ 東北支部例会 平成 25 年 12 月 7 日
- ・ 関東支部月例研究会 平成 25 年 5 月 11 日, 7 月 6 日, 11 月 9 日
- ・ 中部支部 平成 25 年 12 月 21 日, 平成 26 年 3 月 1 日
- ・ 中国・四国地区大学間連携イベント大学生 Oral Presentation & Performance (OPP)研究会
平成 25 年 12 月 15 日

2号事業報告：出版物刊行事業

(1) 『紀要』の刊行

- ① 平成 25 年 10 月 31 日に『JACET Journal』57号を刊行。掲載論文 4件。
- ② 平成 26 年 3 月 30 日に『JACET Journal』58号を刊行。掲載論文 8件。

会員より応募された論文、リサーチ・ノート、及びブックレビューの3つの分野における論文を厳正に審査し、掲載、非掲載を決定した。それぞれ会員及び英語教育関係者、及び国立国会図書館、国立情報学研究所へ送付した。海外提携学会等へも送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『Selected Papers』の作成準備

国際大会で口頭発表（一般ポスター発表も含む）した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与え、また英語教育および応用言語学における広い知識を提供し、さらに海外の学会や英語教育関係者にたいして日本の研究を発信するために、Selected Papers を発行することとなり、論文を募集し、今年度は選考に回すところまで行った。平成26年8月に電子ジャーナル(オンライン)として発行予定である。

(3) 『JACET 通信』の刊行

- ① 平成25年7月1日に『JACET 通信』188号（日本語、ウェブ版）を刊行。
- ② 平成25年12月1日に『JACET 通信』189号（日本語、印刷版およびウェブ版）を刊行。
- ③ 平成26年3月1日に『JACET 通信』190号（英語、ウェブ版）を刊行。

以上、合計3回の通信の刊行を行い、大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより、会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また、国内の他学会からの寄稿により、学際的な教育や研究の動向を知ることでもできた。

(4) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し、会員及び英語教育関係者等へ送付した。支部紀要は、支部会員の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えた。また、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

- 『北海道支部紀要』 平成26年2月22日
- 『TOHOKU TEFL (JACET 支部紀要)』5号 平成26年3月31日
- 『関東支部紀要』1号 平成26年3月31日
- 『中部支部紀要』11号 平成25年12月20日
- 『JACET 関西支部紀要』16号 平成26年3月31日
- 『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』11号 平成26年3月31日
- 『Annual Review of English Learning and Teaching』18号 平成25年11月30日

(5) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

- JACET 東北支部通信 40号 平成26年3月31日
- 関東支部ニューズレター1号 平成25年11月1日
- 関東支部ニューズレター2号 平成26年3月31日
- JACET Chubu Newsletter No.30 平成25年5月10日
- JACET Chubu Newsletter No.31 平成25年12月20日

- 関西支部ニューズレター64号 平成 25 年 4 月 1 日
- 関西支部ニューズレター65号 平成 25 年 5 月 26 日
- 関西支部ニューズレター66号 平成 25 年 7 月 27 日
- 関西支部ニューズレター67号 平成 25 年 10 月 12 日
- 中国・四国支部ニューズレター 11号 平成 25 年 9 月 5 日
- 中国・四国支部ニューズレター 12号 平成 26 年 1 月 31 日
- 九州・沖縄支部ニューズレター 29号 平成 25 年 4 月 15 日

3号事業報告：表彰事業

(1) 大学英語教育学会賞の表彰

第 52 回（2013 年度）国際大会の最終日（平成 25 年 9 月 1 日）に英語教育における研究または実践上の顕著な業績を通してわが国における大学英語教育の改善と進歩・発展に寄与した本学会員である個人または団体に対して表彰を行なった。受賞者に対しては賞状とともに記念品を贈呈した。

平成 25 年度（旧 社団法人大学英語教育学会の規定による）

学術賞 林日出男著 『動機づけ視点で見る日本人の英語学習：内発的・外発的動機づけを軸に』金星堂、2012。

実践賞 江川美知子 宇都宮大学の総合的多面的英語教育改革の計画、実践、評価に関する優れた貢献

新人賞 藤尾美佐著 *Communication Strategies in Action: The Negotiation, Establishment, and Confirmation of Common Ground* 成美堂、2011

平成 25 年度（新 一般社団法人大学英語教育学会の規定による）

新人発表部門 中竹真依子 研究発表「ライティングセンターにおけるチュートリアル
のフィードバック分析—自立した書き手の育成に関する一考察」（第 52 回（2013 年度）国際大会 8 月 31 日発表）

4号事業報告：協力事業

(1) 関係学術団体への派遣

① RELC (Regional Language Centre)

平成 25 年 3 月 18 日から 20 日にシンガポール共和国で開催された RELC Seminar 2013 に本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

② KATE (The Korea Association of Teachers of English)

平成 25 年 7 月 5 日から 6 日に大韓民国で開催された KATE 2013 International Conference に本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

③ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

平成 25 年 10 月 5 日に大韓民国で開催された ALAK 2013 International Conference に本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

④ ETA-ROC(English Teachers' Association of Republic of China)

平成 25 年 11 月 8 日から 10 日に台湾で開催された The 22nd International Symposium and Book Fair on English Teaching に本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

⑤ MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

平成 25 年 5 月 28 日から 30 日にマレーシアで開催された 21st MELTA International Conference に本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

⑥ PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)

平成 25 年 9 月 28 日に大韓民国で開催された PKETA 大会に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表を行った。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

⑦ Thai TESOL(Thailand TESOL)

平成 26 年 1 月 17 日から 18 日にタイ王国で開催された第 34 回 Thai TESOL 国際大会に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表を行った。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。

⑧ AILA EBIC

平成 25 年 9 月 8 日から 12 日にブラジルで開催された AILA 国際大会に本学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行った。大会参加の成果は学会ウェブサイトに掲載。EBIC ミーティングに参加し、AILA-East Asia の開催について関係学会と話し合った。

(2) 提携学会からの代表者受け入れ

第 52 回 (2013 年度) 国際大会および支部大会において提携学会からの代表者を受け入れ、招待講演に係る手配やアテンドを行い友好的な関係を促進した。

(3) 提携学会派遣代表者とビジネスミーティング

大学英語教育学会の提携学会からの代表者と第 52 回 (2013 年度) 国際大会の 2 日目 (平成 25 年 8 月 31 日) に情報交換と今後の今日協力体制について話し合った。結果は運営会議にて報告した。

5 号事業報告：調査研究事業

(1) ICT 調査研究

① シンポジウムの開催

平成 25 年 6 月 16 日に青山学院大学において、また平成 25 年 9 月 1 日に第 52 回 (2013 年度) 国際大会において JACET-ICT 調査研究特別委員会特別企画としてシンポジウムを開催した。全国で行われている ICT を活用した語学授業実践の最前線について発表し、情報を交換した。

② 講演会の開催

平成 25 年 11 月 19 日に早稲田大学で、平成 26 年 3 月 18 日に青山学院大学で次世代 e-Learning Forum を開催し、全国会員に向け講習会・講演会をおこなった。本講演会の成果は、報告書に掲載する。

(2) EBP 調査研究

平成 24 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の 2 年間、EBP (English for Business Purposes) 委員会として、企業の国際部門責任者が社員に期待する英語コミュニケーション能力に関する調査 (産学連携プロジェクト) (一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会と JACET・ESP 研究会との共同研究) を行なった。その 2 年目として、JACET と IIBC の合同研究会議を 8 回、研究打ち合わせを 5 回、ESP 研究会全国会議を開催した。平成 25 年 6 月 29 日に JACET ESP 関東 6 月研究会において、平成 25 年 7 月 8 日にオーストリアのウィーン大学において、平成 25 年 8 月 30 日に JACET 第 52 回国際大会において、平成 25 年 10 月 5 日に JACET 関西支部 第 2 回公演会において、平成 25 年 10 月 26 日にフィリピンのマニラ大学において、平成 26 年 3 月 1 日に早稲田大学において、それぞれ研究発表をおこなった。

(3) 基本語改訂

基本語改訂特別委員会を計 4 回、執行部会を 2 回開催し、改訂方針の作成、作業部会委員の選考、ベースリストの承認、検証割り当て等を行った。

(4) 専門分野別の研究会活動

現在 42 研究会があり、各研究会はそれぞれの分野の調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を定期的に行なった。研究会担当委員会はそれらの各研究会の活動を支援した。その結果、本活動が会員・非会員相互の専門知識と技術の向上及び大学英語教育の発展にも寄与することができた。

(5) その他の調査研究

第 52 回 (2013 年度) 国際大会で会員から「グローバルポスタープレゼンテーション」を募集し、その運営と、成果物として『報告書 (含む CD)』を文部科学省へ提出した。また、同大会最終日に採択された 3 学会による「教育再生実行会議で提案された大学入試制度 (英語) の改革案についての意見書」(通称「京都アピール」) の作成の下準備を行うとともに、JACET による「意見書」の作成の準備をした。

6号事業報告：その他 法人事業

(1) 一般社団法人への移行認可申請

平成 25 年 4 月 1 日より特例民法法人から一般社団法人へ移行し、一般社団法人大学英語教育学会として登記手続きを行った。ウェブサイト等で内容を報告した。

(2) 諸会議の開催

- ① 平成 25 年 5 月 26 日 平成 25 年度第 1 回理事会
- ② 平成 25 年 6 月 23 日 平成 25 年度第 2 回理事会

- ③ 平成 25 年 6 月 23 日 平成 25 年度第 1 回定時社員総会
- ④ 平成 25 年 6 月 23 日 平成 25 年度第 3 回理事会
- ⑤ 平成 25 年 8 月 29 日 平成 25 年度第 4 回理事会
- ⑥ 平成 25 年 12 月 22 日 平成 25 年度第 5 回理事会
- ⑦ 平成 26 年 3 月 22 日 平成 25 年度第 6 回理事会
- ⑧ 運営会議の開催。4 月, 10 月, 3 月に合計 3 回の運営会議を行った。

(3) その他の委員会の開催

定例の運営委員会, 支部委員会, 支部総会, 支部役員会を適宜行った。

(4) 『会員名簿』の刊行

会員情報の提供, 定款等規則の開示を目的として『一般社団法人大学英語教育学会 (JACET) 会員名簿』を平成 25 年 12 月 1 日に発行した。

以上